

# SONY®

## FM/AM ミニディスクプレーヤー

---

### 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



## MDX-C5100

© 1997 by Sony Corporation



# 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



## 安全のための注意事項を守る

この取扱説明書と別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

## 道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

## 定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、  
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

## 警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電

## 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

# 目次

△警告・△注意 .....	4
---------------	---

## ▶ 準備

まず、本機をリセットする .....	6
時計を合わせる .....	7
SHIFTボタンについて .....	8
放送局を自動で登録する .....	9

## ▶ ここだけ読んで使えます

MDを聞く .....	10
ラジオを聞く .....	14

## ▶ MD

いろいろな聞きかた .....	16
-----------------	----

## ▶ ラジオ

特定の放送局を登録する .....	18
放送局に名前をつける .....	19
放送局を名前で探す(リスト) .....	21

## ▶ その他の操作

ロータリーコマンドの操作 .....	22
音質や音のバランスを調節する .....	25
音や表示などの設定を変える .....	26

## 別売りの機器を接続すると

### ▶ CD/MD

チェンジャー内の CD/MDを聞く .....	27
聞きたいディスクを選ぶ .....	28
繰り返し聞く(リピート).....	28
曲順を変えて聞く(シャッフル).....	29
CDに名前をつける(ディスクメモ).....	30
CDの聞きたい曲だけを選ぶ(バンク).....	33
ディスクを名前で探す(リスト).....	35

## 付録

使用上のご注意 .....	36
各部のなまえ .....	38
故障かな? .....	39
保証書とアフターサービス .....	42
主な仕様 .....	43
索引 .....	裏表紙



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

### 取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



### 内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

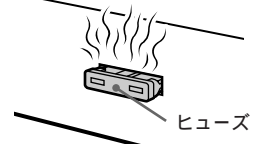


### 規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止



### 前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となることがあります。また、取り付ける場所が助手席用エアバックシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



禁止



---

## 分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

---

## ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



禁止



## はじめに

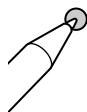
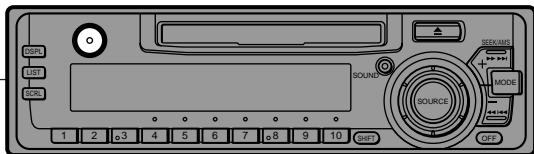
本機では、MDとラジオを聞くことができます。

別売りの機器をつないだ場合も本機のボタンで操作できます。以下の機器が組み合わされます。

- CDチェンジャー、MD(ミニディスク)チェンジャー
- スペアナ付CDプレーヤー
- ロータリーコマンドー

この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りの機器を接続した場合の操作方法についても説明しています(27ページ～)。

## まず、本機をリセットする

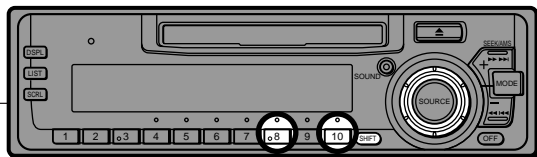


初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押す。

ご注意

リセットボタンを押すと、時刻の他、登録した内容で消えるものがありますので、登録し直してください。

# 時計を合わせる



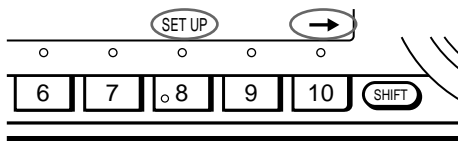
SET UP (セットアップ)

**1** 車のイグニッションキーをONにする。

SHIFT

**2** SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。

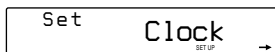
SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示がでます。



SET UP

8

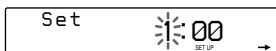
**3** 数字ボタン8 (SET UP) を押す。



→

10

**1** 数字ボタン10 (→) を押す。



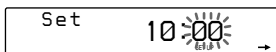
**2** ダイヤルで「時」を合わせる。(時計は12時間表示)



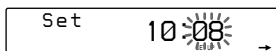
→

10

**3** 数字ボタン10 (→) を押す。



**4** ダイヤルで「分」を合わせる。



SHIFT

**4** 最後に、SHIFTボタンを押す。

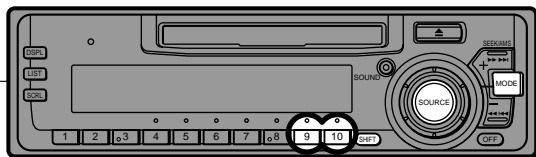
# SHIFTボタンについて

本機を操作するとき、SHIFTボタンを押すと、1～10のボタンは、上に機能表示が出て各機能の操作ボタンに変わります。

各設定等を行った後はSHIFTボタンを押してもとに戻します。



# 放送局を自動で登録する



受信できる局を数字の1～10ボタンに自動的に登録します。FMまたはAMのバンドでそれぞれ10局ずつ登録できます。テレビ放送(1～3チャンネル)は、FM90.0MHzの次にあります。



**1** SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。



**2** MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。



**3** SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

PLAYMODE



**4** 数字ボタン9 (PLAY MODE) を繰り返し押して、「B.T.M」を表示する。



**5** 数字ボタン10(→)を押す。

「B.T.M」(ベストチューニングメモリー)と表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。



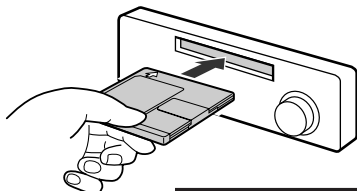
**6** 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

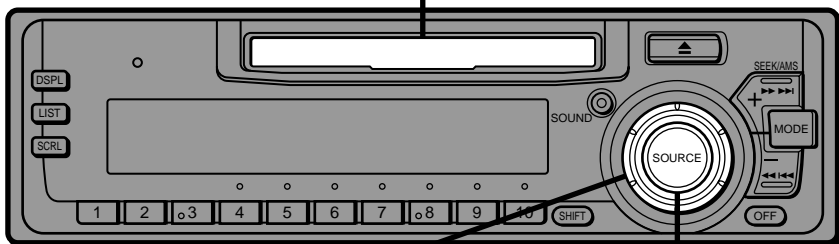
- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されているときは、それ以降の数字ボタンに放送局が登録されます。

# MDを聞く

## MDを入れると再生が始まります



ラベルの面を上にして  
矢印の向きに  
いれます。



## 音量を調節する

\* 本機は電話使用時やナビゲーションの案内音声があるときに音楽の音量を自動的に下げます(TEL/NAVIミュート機能)。ただし、ミュート出力コードの付いた携帯電話や自動車電話、カーナビゲーションシステムを接続した場合です。VOLダイヤルで音量を上げると解除されます。

## MDが入っているときに 押して「MD」を選ぶと 再生が始まる

(<sup>ソース</sup>SOURCEボタン)



本機ではMDに記録されたディスク名・曲名がアルファベット、数字およびカタカナのみ表示できます。

### ご注意

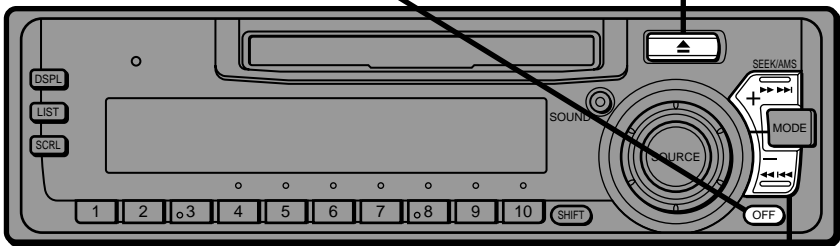
- 漢字・ひらがな入力されたMDを再生した場合は、「NO D.Name」「NO T.Name」と表示されます。
- カタカナ表示に対応していないMDチェンジャーの情報はカタカナ表示はできません(くわしくは27ページをご覧ください)。

止める / 電源を切る

オフ  
(OFFボタン)

MDを取り出す

イジェクト  
(▲ボタン)



聞きたいところを探す

シーク/エー-エムエス  
(SEEK/AMSボタン)



先に進める

前に戻す

押しつづけ、聞きたいところ  
で離します。

曲の頭出しをする

シーク/エー-エムエス  
(SEEK/AMSボタン)

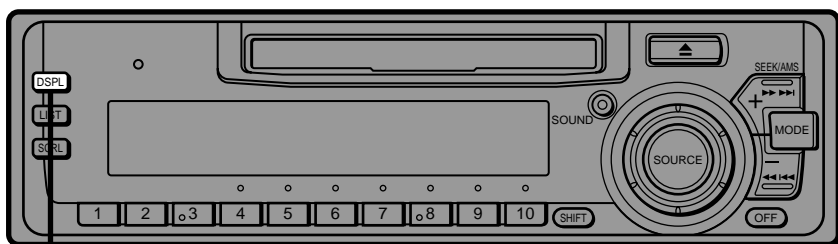


次の曲へ

前の曲へ

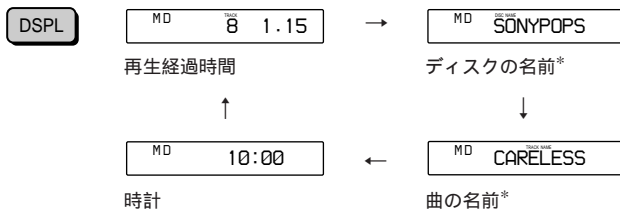
とばしたい曲の数だけ押します。

# MDを聞く(つづき)



## 表示の見かた ディスプレイ (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



\* ディスク名が記録されていないときは、「NO D.Name」と表示後、再生経過時間表示になります。

曲名が記録されていないときは、「NO T.Name」と表示後、再生経過時間表示になります。

MDに録音日時が記録されているときは、再生中にDSPLボタンを2秒以上押すと録音日時が約3秒間表示されます。記録されていないときは、「No Date」と表示します。

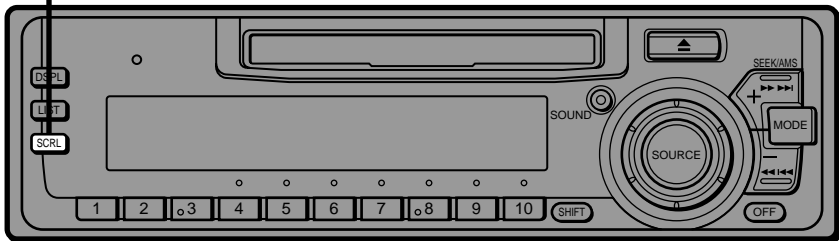
## DSPLボタンを押して、表示した名前が長いとき(11文字以上)

スクロール  
(SCRLボタン)

SCRL

表示を右から左へスクロールできます。

名前が長いとき自動的にスクロールさせることもできます。くわしくは26ページをご覧ください。



# ラジオを聞く

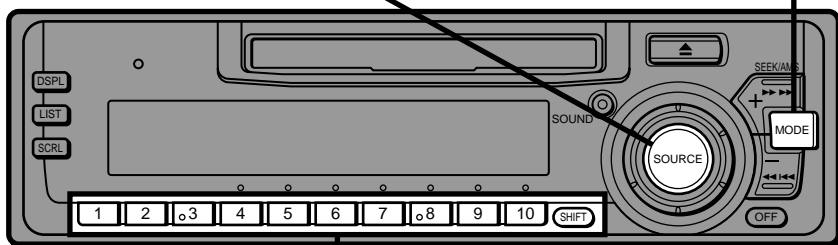
## 1 ラジオに切り換える



## 2 聞きたいバンドに切り換える



押して「FM」または「AM」を選びます。



## 3 聞きたい放送局のボタンを押す (放送局を登録してあるとき)



登録のしかたについては、9ページ参照。

### ご注意

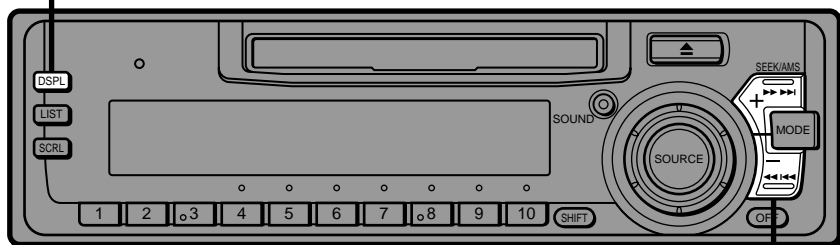
SHIFTボタンが押されていて数字ボタンの上に「SET UP」および「PLAY MODE」表示が出ているときは、数字ボタンで選択はできません。この場合は、SHIFTボタンを押して表示を消してから操作してください。

## 表示の見かた ディスプレイ (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



\* 名前を登録していないときは「NO Name」と表示後、周波数表示になります。  
ボタン操作のあと、表示切り換えが遅れることもあります。



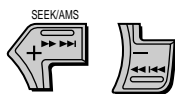
## ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送を受信すると「ST」と表示されます。放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。
- 2 数字ボタン9 (PLAY MODE)を押して「Mono」を表示する。
- 3 数字ボタン10(→)を押して「Mono on」を表示する。
- 4 最後に、SHIFTボタンを押す。

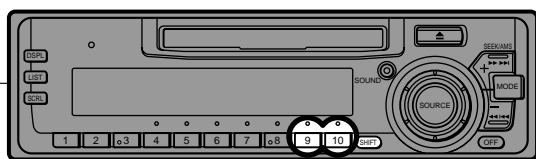
## 旅先などで、登録した局が受からないとき (自動選局を使う)

SEEK/AMSボタンを短く押して離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい局が受かるまで、ボタンを押します。



- 聞きたい局がわかっているときは、その局の周波数になるまでSEEK/AMSボタンを押しつづけます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い局だけを受信します。
  - 1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。
  - 2 数字ボタン9 (PLAY MODE)を押して「Local」表示にする。
  - 3 数字ボタン10(→)を押して「Local on」表示にする。
  - 4 最後に、SHIFTボタンを押す。
 ふつうの受信に戻すには、手順3で「Local off」を選びます。

# いろいろな聞きかた

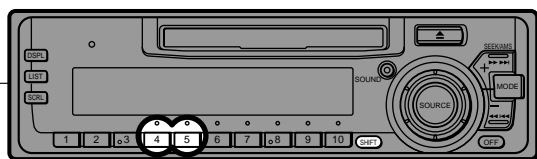


PLAY MODE(プレイモード)

## 聞きたい曲を選ぶ(イントロ)

- 1** **SHIFT** ボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。  
SHIFT ボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示ができます。(「SET UP」、「PLAY MODE」など)
- 2** **PLAYMODE**  
**9** 数字ボタン9(PLAY MODE)を押して、「Intro」を表示する。
- 3** **10** (→) 数字ボタン10(→)を押して「on」表示にする。
- 4** **SHIFT** 最後に、SHIFT ボタンを押す。  
ふつうの再生に戻すには、手順3で「off」表示にします。





リピート/シャッフル

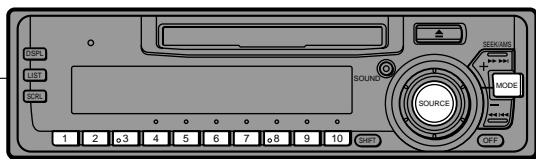
## 繰り返し聞く

- 1** SHIFTボタンを押して「REP」を表示する。  
SHIFT
  - 2** 数字ボタン4( REP )を繰り返し押し、「Repeat 1」表示にする。  
REP  
4
  - 3** 最後に、SHIFTボタンを押す。  
SHIFT
- ふつうの再生に戻すには、手順2で「Repeat off」表示にします。

## 曲順を変えて聞く

- 1** SHIFTボタンを押して「SHUF」を表示する。  
SHIFT
  - 2** 数字ボタン5( SHUF )を繰り返し押し、「Shuf 1」表示にする。  
SHUF  
5
  - 3** 最後に、SHIFTボタンを押す。  
SHIFT
- ふつうの再生に戻すには、手順2で「Shuf off」表示にします。

# 特定の放送局を登録する



放送局を自動で登録(9ページ)したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。すでに登録してある数字ボタンも、他の放送局に登録し直すことができます。道路交通情報(AM1,620kHzまたはAM1,629kHz)を登録しておく便利です。



**1** SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。



**2** MODEボタンを押して登録したい放送局のバンド(FMまたはAM)に切り換える。



**3** SEEK/AMSボタンを押して登録する放送局を受信する。

AM 1620



**4** 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押す。

↓



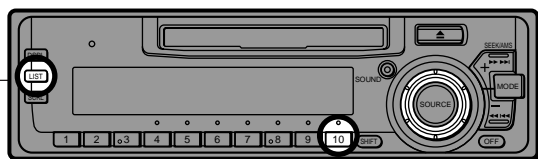
押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局が登録されます。

AM 10 1620

## ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の局は消えてしまいます。

# 放送局に名前をつける



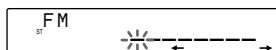
ステーションメモ

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。  
最大40の放送局に、8文字までの名前をアルファベットでつけられます。

**1** 名前をつけたい放送局を受信する。

LIST

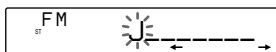
**2** LISTボタンを表示が点滅するまで押す。



**3** 文字を入力する。

① ダイヤルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→\*→/→\→ →  
→.→\_



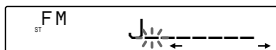
ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。

文字の間をあげたいときは、「\_」(下線)を入力します。

→  
10

② 文字が見つかったら、数字ボタン10(→)を押す。

次の文字を入力できるようになります。



間違えたときは、数字ボタン7(←)を押して修正したい文字を点滅させて正しい文字を入れます。

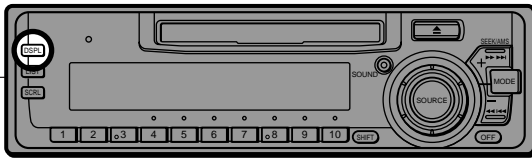
③ 手順①と②を繰り返して、名前を入力する。

**4** つづけて他の放送局に名前をつける場合は、その局を受信してから文字を入力する。

LIST

**5** 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。

# 放送局に名前をつける (つづき)



## 名前を表示するには

DSPL

DSPLボタンを押して名前表示に切り換える。

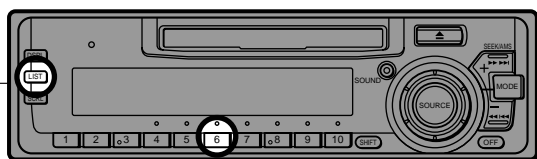
名前を登録していない場合は、「NO Name」と表示されます。

## 名前を消去するには

- 1 LISTボタンを表示窓が点滅するまで押します。
- 2 DSPLボタンを2秒以上押します。
- 3 ダイヤルを回して消したい名前を表示させます。
- 4 数字ボタン6(ENTER)を名前が消えるまで押します。
- 5 LISTボタンを2秒以上押します。

「放送局に名前をつける」の手順3で、すべての文字に「\_」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

# 放送局を名前で探す



リスト

登録した放送局が周波数を見ながら探せます。

放送局に名前をつけておくと(19ページ) 名前が表示されます。

**LIST** 1 LISTボタンを短く押す。



受信中の放送局の名前が点滅

名前をつけていない場合は、周波数を表示します。

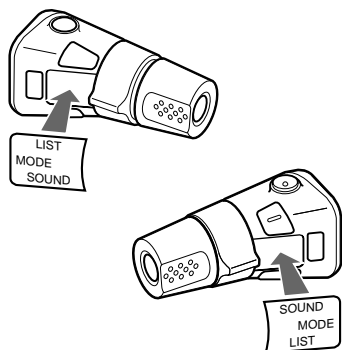
**LIST** 2 つづけてLISTボタンを押して聞きたい放送局の名前に切り換える。

DSPLボタンを押したり、ボタンを押さないまま5秒間を過ぎると、もとの表示に戻ります。

**ENTER**  
6 3 数字ボタン6(ENTER)を押して受信する。

# ロータリーコマンドーの操作

## ロータリーコマンドーのシールについて

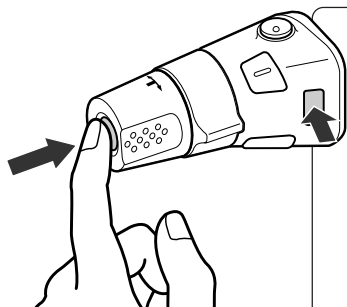


本機には、別売りのロータリーコマンドー（RM-X2S）を接続することができます。

ロータリーコマンドーには、ボタン名称のシールが6枚付属されています。接続するマスターユニットの機能および、ロータリーコマンドーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。

CD/MDチェンジャーは、各機器を接続しているときだけ操作できます。

## 押すとソース（SOURCEボタン、モードMODEボタン）



### SOURCEボタンを押すと

ソースがTUNER CD MDと切り換わる

ロータリーコマンドーのSOURCEボタンを押すと本体の電源が入ります。

### MODEボタンを押すと

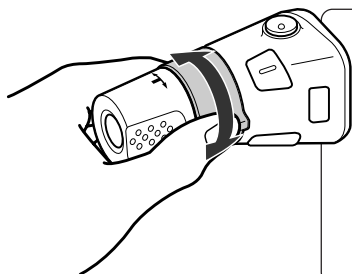
TUNERの時：FM AM ...

CDの時：CD1 CD2 ...

MDの時：MD1 MD2 ...

と切り換わる

## 回すとシーク/エー・エム・エス（SEEK/AMSつまみ）



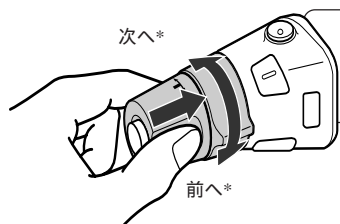
CD/MD... 短く回して離すと曲の頭出しをする

回しつづけると早く送られ、離すと再生に戻る

ラジオ..... 短く回して離すと自動的に放送局を受信する

回しつづけると特定の周波数を受信する

## 押しながら回すとプリセット/ディスク (PRESET/DISCつまみ)

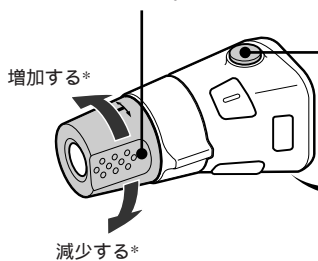


CD/MD... チェンジャー内のディスクを切り換える  
ラジオ... プリセットした放送局を順に受信する

\* 操作方向は初期設定でハンドルコラムの左側に設置したときの使用を想定した方向になっています。

## その他の操作

### 音量を調節するボリューム (VOLつまみを回す)



音を瞬時に消すミュート (MUTEボタンを押す)

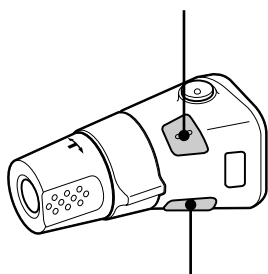


電源を切るオフ (OFFボタンを押す)

\* 操作方向は初期設定でハンドルコラムの左側に設置したときの使用を想定した方向になっています。

### 音量調節・音質選択するサウンド (SOUNDボタンを押す)

本体のボタンと同じ働きをします。

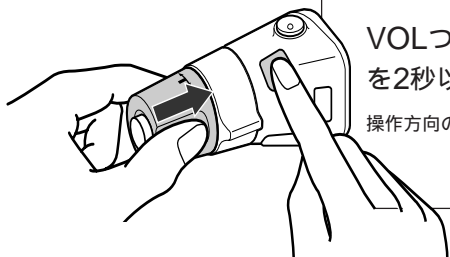


リストを表示するリスト (LISTボタンを押す)

本体のボタンと同じ働きをします。

# ロータリーコマンドーの操作 (つづき)

## つまみの操作方向を切り換える



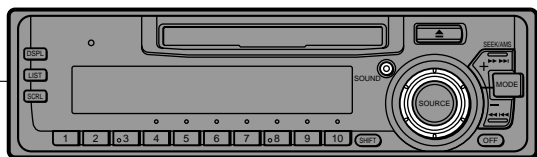
運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。

**VOLつまみを押しながら、SOUNDボタンを2秒以上押す**

操作方向の切り換えは、本体でもできます(26ページ)。



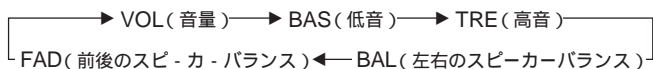
# 音質や音のバランスを調節する



BAS(低音)、TRE(高音)はソースごとに調節できます。



## 1 SOUNDボタンを押して調節したい項目にする。



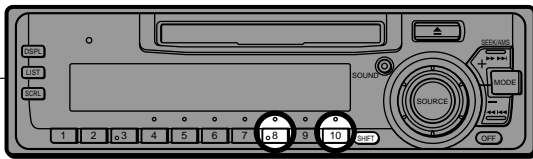
## 2 ダイヤルを回して調節する。

3秒以内にダイヤルを回してください。3秒を過ぎると音量調節(VOL)に戻ります。



BAS	TRE	BAL	FAD
弱まる	弱まる	左へ移動	後ろ方向へ移動
強まる	強まる	右へ移動	前方向へ移動

# 音や表示などの設定を変える



SET UP (セットアップ)

次の設定ができます。

- 「D.Info」 → 常に時計表示をさせる。
- 「Dimmer」 → 表示窓の減光を設定する。
  - 「Auto」 → 車の照明をONにすると表示が減光する。(車の照明電源に接続されている場合のみ)
  - 「on」 → 車の照明に関係なく表示が減光する。
  - 「off」 → 車の照明に関係なく表示が減光しない。
- 「Contrast」 → 表示のコントラストを変える。
- 「Beep」 → 操作ボタンを押したときの「ピッ」という音を入・切する。
- 「RM」 → ローターコマンド(別売り)のつまみの操作方向を切り換える。
  - 「norm」 → 初期設定の回転方向。
  - 「rev」 → 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。
- 「Loud」 → 小音量でも聞きやすいように音のバランスを補正する。
- 「A.Scr」 → ディスクを入れかえたときや曲が変わったときに11文字以上の曲名やディスク名を自動的にスクロールする。「off」ではスクロールしない。
- 「Disc MEMO/TEXT name」
  - CDの表示設定をする。(別売りのCD-TEXT対応CDチェンジャーを接続した場合。)
  - 「DiscMEMO」 → ディスクメモ機能でつけたディスク名を表示する。
  - 「TEXTname」 → CD-TEXTディスクの情報を表示する。
  - ただしCD-TEXTディスクの曲名は、どちらに切り換えても表示されます。

SHIFT

**1** SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。

SET UP

8

**2** 数字ボタン8 (SET UP) を押して調節したい項目に切り換える。

Clock → D.Info\* → Dimmer → Contrast → Beep → RM → Loud\* → A.Scr → Disc MEMO/TEXT name

\*チューナー受信中やMD再生中に表示されます。

→

10

**3** 数字ボタン10(→)を押して調節したい設定にする。

(例: 「on」または「off」)

「Contrast」では数字ボタン10(→)を押すとコントラストが強くなり、数字ボタン7(←)を押すと弱くなります。

SHIFT

**4** 最後に、SHIFTボタンを押す。

# CD/MD

別売りのCDチェンジャーやMDチェンジャーをつないで、CDやMD(ミニディスク)を再生できます。この章では、チェンジャー固有の機能について説明します。

## チェンジャー内のCD/MDを聞く



**1** SOURCEボタンを押して「CD」または「MD」表示にする。



**2** MODEボタンを押して聞きたいチェンジャーに切り換える。

MDの場合

MD1(本体)→MD2(MDチェンジャー1)→MD3(MDチェンジャー2)  
全てのディスクを順に再生します。

ご注意

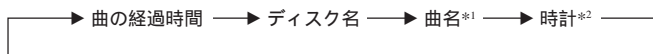
カタカナ表示に対応していないMDチェンジャーでは、カタカナのディスク名・曲名はローマ字に変換されて表示されます。また、表示されたローマ字の前後に「^」記号が付加されます。

例 BESTヒット → BEST^HI tuT0^

### 表示窓の見かた



再生中にDSPLボタンを押して表示を切り換えます。



- ・「NO D.Name」: MDにディスク名が記録されていない。
- ・「NO T.Name」: MDに曲名が記録されていない。

\*1 MDもしくはCD-TEXTディスクを再生した場合。

\*2 D.Infoを「ON」にしたときは表示しません。

MDに録音日時が記録されている場合は再生中にDSPLボタンを2秒以上押すと録音日時が約3秒間表示されます。

長いディスク名、曲名を再び見るにはSCRLボタンを押します。

ご注意

- ・別売りのCD-TEXT対応CDチェンジャーを接続して、極端に文字数の多い数枚のCD-TEXTディスクを再生した場合、次のようなことがあります。
  - 何文字かが表示されない。
  - 自動的にスクロールされない。
- ・CD-TEXTディスクに記録されているディスク名/アーティスト名、曲名などはアルファベットと数字のみ表示できます。

## 聞きたいディスクを選ぶ

再生中に聞きたいディスクの番号と同じ数字ボタン1～10を押す。



リピート

## 繰り返し聞く

- 「REP1」→ 再生中の曲を繰り返す。
- 「REP2」→ 再生中のディスクを繰り返す。
- 「REP3」→ 再生中のチェンジャーの全ディスクを繰り返す。

SHIFT

**1** 再生中にSHIFTボタンを押して「REP」表示にする。

REP

4

**2** 数字ボタン4 (REP) を押して聞きたい設定に切り換える。



リピート演奏が始まります。

ふつうの再生にするには、手順2で「REP OFF」を選びます。

## 曲順を変えて聞く

- 「SHUF1」→再生中のディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。
- 「SHUF2」→再生中のチェンジャーの全ディスクの曲を順不同に再生する。
- 「SHUF3」→全ディスクの曲を順不同に再生する。

SHIFT

**1** 再生中にSHIFTボタンを押して「SHUF」表示にする。

SHUF

5

**2** 数字ボタン5( SHUF )を押して聞きたい設定に切り換える。

→ SHUF 1 → SHUF 2 → SHUF 3 → SHUF OFF

シャッフル演奏が始まります。

ふつうの再生にするには、手順2で「SHUF OFF」を選びます。

ご注意

SHUF2とSHUF3では、すべての曲を再生し終える前に、同じ曲が再生されることがあります。

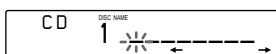
## CDに名前をつける

カスタムファイル対応のCDチェンジャーの場合

CDに8文字までの名前をつけ、再生中に表示できます。つけた名前はチェンジャー本体に記憶され、CD110枚分を保存できます。カスタムファイルに対応しているチェンジャーを1台つないでいれば、対応していないチェンジャーに入っているCDにも名前をつけられます。

LIST

- 1** CDを再生し、LISTボタンを表示が点滅するまで押す。



- 2** 文字を入力する。

- ①** ダイヤルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→\*→/→\→ →  
→.→\_



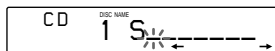
ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。

文字をあげたいときは、「\_」(下線)を入力します。



10

- ②** 文字が見つかったら、数字ボタン10(→)を押す。



間違えたときは、数字ボタン7(←)を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

- ③** 手順**①**と**②**を繰り返して、名前を入力する。

LIST

- 3** 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。

## CDに名前をつける(つづき)

## 名前を表示するには

DSPL

再生中にDSPLボタンを押して、名前を表示する。

CD	1	SCHBERT
----	---	---------

DSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り換える。



\*1 CD-TEXT機能付きCDチェンジャーを接続している場合に、ディスクメモ名またはCD-TEXT名のどちらかを表示します。  
どちらを表示させるかは、次のように行います。

SHIFTボタンを押してから、数字ボタン10(→)を押して変更  
優先表示の設定変更(32ページ)

またその時の表示は以下の通り：





再生中のディスク	優先表示	実際の表示
ディスクメモされた CD-TEXTディスク	Disc MEMO TEXT name	ディスクメモ CD-TEXT情報
ディスクメモされたCD	Disc MEMO TEXT name	ディスクメモ
ディスクメモされていない CD-TEXTディスク	Disc MEMO TEXT name	CD-TEXT情報
ディスクメモされていない CD	Disc MEMO TEXT name	NO D.Name

\*2 CD-TEXT機能付きCDチェンジャーを接続し、CD-TEXTディスクを再生したときのみ表示されます。

## CDに名前をつける(つづき)

## 名前を優先表示するには(CD-TEXTディスクのとき)

CD-TEXTディスクにディスクメモでつけた名前とCD-TEXTディスク内に登録してある名前のどちらかを優先的に表示させることができます。

- 
**1** CD-TEXTディスクを再生し、SHIFTボタンを押す。
- 
**2** 数字ボタン8 (SET UP) を押して「Disc MEMO」または「TEXT name」を表示させる。
- 
**3** 数字ボタン10 (→) を押し、優先させて表示する設定に切り換える。
- 
**4** 最後に、SHIFTボタンを押す。  
 優先させて表示する設定を換えるには、手順3で設定を切り換えます。

## ディスクメモを消去するには

- 1** SOURCEボタンを押してCDチェンジャーを選びます。
- 2** LISTボタンを表示が点滅するまで押します。
- 3** DSPLボタンを2秒以上押します。
- 4** ダイヤルを回して消したい名前を表示させます。  
 名前は登録されたすべてが古い順に表示されます。
- 5** 数字ボタン6 (ENTER) を2秒以上押します。  
 他に消したい名前があるときは、手順4、5を繰り返します。
- 6** 最後に、LISTボタンを2秒以上押します。  
 「CDに名前をつける」の手順2で、すべての文字に「\_」(下線)を入力して名前を消すこともできます。



## CDの聞きたい曲だけを選ぶ

聞きたくない曲をとばして、お気に入りの曲だけを再生します。この機能を使えるのは、ディスクメモ機能(30ページ)で名前をつけたCDだけです。

### 聞きたくない曲をとばすように指定する

SHIFT

**1** CDを再生し、SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

PLAYMODE

9

**2** 数字ボタン9(PLAY MODE)を表示が点滅するまで押す。



表示されない場合は、CDに名前がついていません。ふつうの表示に戻るには、数字ボタン9(PLAY MODE)を2秒以上押して、SHIFTボタンを押します。名前をつけてから、操作をやり直してください。



ENTER

6

**3** SEEK/AMSボタンを押してとばしたい曲の番号を表示して、数字ボタン6(ENTER)を押す。

表示が「Play」(再生する)から「Skip」(とばす)に変わります。



「Play」に戻るときは、もう1度数字ボタン6(ENTER)を押します。

**4** 同様にして、とばす曲全部に「Skip」を設定する。

PLAYMODE

9

**5** 数字ボタン9(PLAY MODE)を2秒以上押す。

SHIFT

**6** 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

- 「Skip」を設定できるのは24曲目までです。
- 「Skip」を全曲に設定して、ディスクを丸ごととばすことはできません。

## CDの聞きたい曲だけを選ぶ(つづき)

## 曲をとばしながら聞く

- 「Bank on」→「Play」と設定した曲だけ再生する。
- 「Bank inv」→「Skip」と設定した曲だけ再生する。
- 「Bank off」→ ふつうの再生。

**SHIFT** 1 CDを再生し、SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。



2 数字ボタン9(PLAY MODE)を繰り返し押し、  
「Bank」表示にする。



3 数字ボタン10(→)を押して再生のしかたを選ぶ。



バンク演奏が始まります。

**SHIFT** 4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順3で「Bank off」表示にします。

## ディスクを名前で探す

MDチェンジャーまたはカスタムファイル対応のCDチェンジャーの場合

名前を見ながら好きなディスクを選べます。CDについては、ディスクメモ機能(30ページ)で名前をつけてからこの機能を使います。

**LIST** 1 LISTボタンを短く押す。



**LIST** 2 LISTボタンを押して聞きたいディスクの名前を表示させる。

ボタンを押さないまま5秒を過ぎると、ふつうの表示に戻ります。

**ENTER**  
6 3 数字ボタン6(ENTER)を押して再生する。

ご注意

- 「NO Disc」: ディスクが入っていない
- 「\*\*\*\*\*」: 名前が入っていない。
- 「?」: 本機がディスク情報を読み込んでいない。

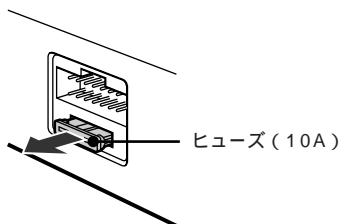
# 使用上のご注意

## 本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

## ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



## 結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、MDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、MDプレーヤーが動作しないことがあります。

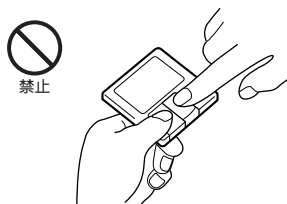
周囲の状況にもよりますが、MDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

## MDの取り扱い

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれやそりなどが、誤動作の原因になることもあります。いつも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

## MD内部に直接触れない

シャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれます。



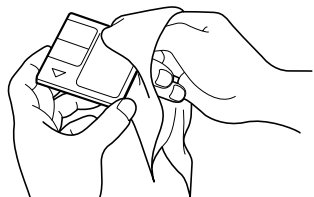
## 保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。特に夏季、直射日光下で窓を閉め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



## お手入れ

カートリッジ表面についたホコリやゴミなどを乾いた布でふき取ってください。



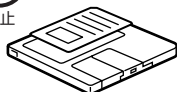
## ラベルを貼るときのご注意

ラベルは、カートリッジに正しく貼られていないと、MDが本機から取り出せなくなることがあります。

- 指定の場所に貼ってください。



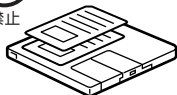
禁止



- 重ねて貼らないでください。



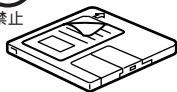
禁止



- ラベルがめくれれたり、浮いているときは新しいラベルに貼り換えてください。



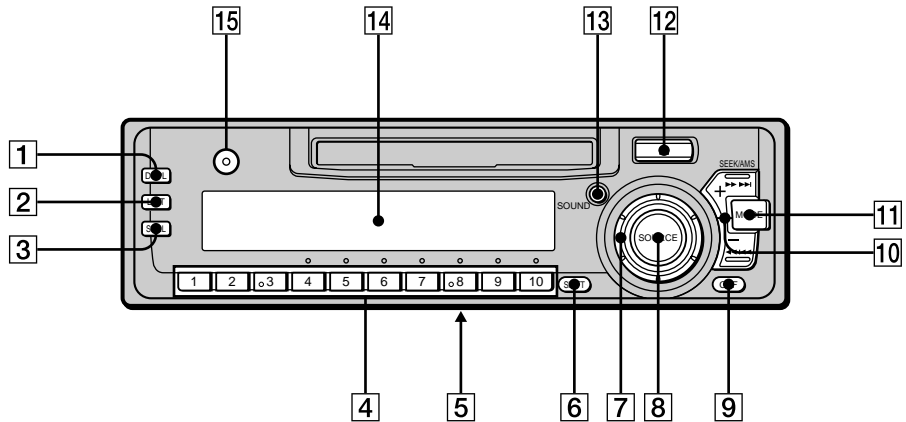
禁止



# 各部のなまえ

## 本体

内のページに詳しい説明があります。



- |   |  |
|---|--|
| <p><b>1</b> ディスプレイ<br/>DSPL (表示切り換え) ボタン<br/>12 15 20 27 31</p> <p><b>2</b> リスト<br/>LIST ボタン<br/>CD/MD 30 35<br/>ラジオ 19 21</p> <p><b>3</b> スクロール<br/>SCRL ボタン 13</p> <p><b>4</b> 数字ボタン1～10<br/>CD/MD 28<br/>ラジオ 14 18</p> <p><b>5</b> パワーセレクトスイッチ (底面)<br/>くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。</p> <p><b>6</b> シフト<br/>SHIFT ボタン<br/>BTM 9<br/>PLAY MODE 15 16<br/>REP 17 28<br/>SET UP 7 26 32<br/>SHUF 17 29</p> | <p><b>7</b> ボリューム / バス / トレブル / バランス / フェーダー<br/>VOL/BAS/TRE/BAL/FAD (音量調節)<br/>ダイヤル 7 10 19 25 30</p> <p><b>8</b> ソース<br/>SOURCE (ラジオ/CD/MD切り換え)<br/>ボタン 9 10 14 18 27</p> <p><b>9</b> オフ<br/>OFF (電源切り) ボタン 11</p> <p><b>10</b> シーク/エー・エム・エス<br/>SEEK/AMS (頭出し/ラジオ選局)<br/>ボタン 11 15 18 33</p> <p><b>11</b> モード<br/>MODE (FM/AMバンド、チェンジャー<br/>切り換え) ボタン 9 14 18 27</p> <p><b>12</b> イジェクト<br/>▲ (MD取り出し) ボタン 11</p> <p><b>13</b> サウンド<br/>SOUND (音質調整) ボタン 25</p> <p><b>14</b> 表示窓</p> <p><b>15</b> リセットボタン 6</p> |
|---|--|

# 故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。  
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

	症状	原因・処置
共通	音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 音量を上げてください。</li><li>• スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。</li></ul>
	電源OFF時に時計表示にならない。	パワーセレクトスイッチが⑨になっている。 パワーセレクトスイッチを⑩にしてからリセットボタンを押してください(アクセサリポジションのある車のみ)。
	ラウドネスの効果がかからない。	大音量になっている。音量を下げてください。 ラウドネス効果は小音量時だけかかります。
	メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none"><li>• リセットボタンを押した。</li><li>• 動作電源コードまたはバッテリーをはずした。</li><li>• 電源コードが正しく接続されていない。</li></ul>
	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	「ピッ」という音が出ない設定になっている(26ページ)。
MD	MDが入らない。 MDを入れてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none"><li>• すでに別のMDが入っている。</li><li>• MDを誤った向きに入れようとしている。 レーベル面を上にして矢印の向きに入れてください。</li></ul>
	音がとぶ。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 本機の取り付け角度が20°を越えている。</li><li>• 本機がしっかりしていない所に取り付けてある。</li><li>• ごくまれに録音機と本機との互換性により音がとぶことがあります。この場合、録音機のメーカー名と機種名をご確認のうえ、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。</li></ul>

# 故障かな?(つづき)

	症状	原因・処置
MD	ディスク名・曲名がカタカナ表示されない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• MDチェンジャーがカタカナ表示に対応していない(27ページ)。</li><li>• 一部の機種種の録音機で編集されたMDではカタカナ表示されないことがあります。</li></ul>
ラジオ	受信できない。 雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• カーアンテナとの接続を確認してください。</li><li>• オートアンテナが上がっていない。パワーアンテナコントロールリードをANT/REM(青)コードに接続してください。</li><li>• 周波数を確認してください。</li></ul>
	SEEKボタンを押しても聞きたい局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 「LCL」と表示されている場合は電波の強い周波数しか受信しません。表示を消してください(15ページ)。</li><li>• 電波が弱くて自動選局できない。SEEK/AMSボタンを押してつづけて周波数を合わせてください。</li></ul>
CD	音がとぶ。音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"><li>• CDが汚れている。ディスクをクリーニングしてください。</li><li>• ディスクが傷ついている。</li></ul>



## CD/MDのエラー表示

CDやMDが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
<b>Blank*</b>	MDに何も録音されていない。	他のMDに入れ換える。
<b>Error*</b>	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
<b>HighTemp</b>	周囲の温度が50°C以上あり再生できない。	車内の温度が下がるのを待つ。
<b>NO Disc</b>	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
<b>NG Discs</b>	CD/MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのCD/MDに入れ換える。
<b>NO Mag</b>	ディスクマガジンがチェンジャーに入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、チェンジャーに入れる。
<b>Not Ready</b>	MDチェンジャーMDX-40のフロントパネルが開いている。	フロントパネルを閉じる。(MDX-40のみ)
<b>PushReset</b>	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

\*ディスクマガジン内でエラーを起こしたディスク番号が表示されます。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

## 保証期間

お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな?」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

## 保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

## 保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

## 部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

# 主な仕様

## MDプレーヤー部

SN比	94dB
周波数特性	5～20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

## チューナー部

### FM

受信周波数	76～90MHz(テレビ1～3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	9dBf
周波数特性	30～15,000Hz
SN比 50dB感度(IHF)	18dBf
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	65dB(ステレオ) 68dB(モノラル)

ひずみ率(1kHz)	0.5%(ステレオ) 0.3%(モノラル)
------------	--------------------------

ステレオセパレーション キャプチャレシオ	35dB以上(1kHz) 2dB
-------------------------	---------------------

### AM

受信周波数	522～1,629kHz
中間周波数	10.71MHz/450kHz
実用感度	30μV

## アンプ部

適合インピーダンス	4～8
最大出力	35W×4(4 負荷1kHz)

## 電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
----	---------------------------

出力端子	フロント/リヤ音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
------	--

入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子 ミュート入力端子
------	---------------------------------------

本体寸法	約178×50×181mm (幅/高さ/奥行き)
------	-----------------------------

取付寸法	約178×50×160mm (幅/高さ/奥行き)
------	-----------------------------

質量	約1.1kg
----	--------

## 付属品

取り付け/接続部品(一式)  
取扱説明書(一式)  
ソニーご相談窓口のご案内(1)  
保証書(1)

## 別売品

ロータリーコマンダーRM-X2S  
(1)  
CDチェンジャー  
CDX-805(10枚入)  
CDX-705(10枚入)  
CDX-T65(6枚入)  
CDX-T62(6枚入)  
MDチェンジャー  
MDX-61など  
スเปアナ付きCDプレーヤー  
CSX-310  
ソースセクター  
XA-C30  
バスケーブル(RCAピンコード  
付属)  
RC-61(1m)  
RC-62(2m)  
RCAピンコード  
RC-63(1m)  
RC-64(2m)RC-65(5m)

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

# 索引

## あ行

イントロ 16  
エラー表示 40  
音量 10、25

## か行

カスタムファイル 30~34  
高音 25

## さ行

CD/MD 27  
名前を探す 35  
名前をつける 30  
名前を表示する 31  
シャッフル 17、29  
ステレオ放送 15  
スピーカーバランス 25  
SET UP  
A.Scr1 26  
Beep 26  
Clock 7、26  
Contrast 26  
Dimmer 26  
D.Info 26  
DiscMEMO/  
TEXTname 26  
Loud 26  
RM 26

## た行

低音 25  
ディスクメモ 30  
登録  
自動登録 9  
ラジオ局 9、18

道路交通情報 18  
電源 11  
時計 7  
トラブル 25

## な行

名前  
消去する 20、32  
つける 19、30  
表示する 12、15、20、  
27、31

## は行

バス 25  
バランス 25  
バンク 33、34  
ヒューズ 35  
表示窓  
CD/MD 12、27  
ラジオ 15  
フェーダー 25  
ベストチューニングメモリー9  
ボタンの音 26

## ま、や行

モノラルモード 15

## ら、わ行

ラウドネス 26  
ラジオ 9、14、19  
自動選局 15  
名前を探す 21  
名前をつける 19  
名前を表示する 20  
登録 14、18

リセット 6  
リピート 17、28  
リモコン  
ロータリーコマンド  
22~24

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客さま相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111